

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
2. (社福)恩賜財団 母子愛育会	1.2.3.4.5.	<p>1. 母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 目的・対象者及び参加人員 ① 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させた。自治体の保健師 100名 ② 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせた。自治体勤務の栄養士 30名 ③ 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成した。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等 30名 ④ 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供した。医師・助産師・看護師 290名 ⑤ 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高めた。先天性代謝異常症等検査技術者 50名</p> <p>2. 子ども家庭福祉情報等の提供事業 目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供した。 情報収集リスト～①国の施策、審議会、懇談会等②虐待問題、里親問題等③病気・医療④健やか親子21関連⑤子育て支援⑥児童福祉施設・養護施設⑦障害児に関すること等 Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報 専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件</p>	<p>平成15年度の実績に準じ、下記のとおり実施する計画である。</p> <p>1. 母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。 2. 子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。 3. 愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。 4. 子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。 5. 専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。</p>
2. (社福)恩賜財団 母子愛育会		<p>3. 愛育班員等研修会～市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催 10回 4. 子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布～育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。 5. 専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育した。 100名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
13. 全国助産師教育協議会	「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」に関する助産師教育についての検討 15.20.関連テーマ	<p>※ 第39回全国助産師教育協議会総会を開催 期間：平成15年5月16日（金）～17日（土） 場所：東京都立保健科学大学</p> <p>1. 「大学院における助産師教育」の検討を行い、教科内容・科目案、実習計画試案、評価案、などの例を提示した。</p> <p>2. 教育制度委員会では「助産基礎教育における教育のコア」の検討を行い、妊娠期・分娩期の診断とケアや、不妊の悩みをもつ女性のケアなどの教育内容について、検討中。</p> <p>3. 教育業務委員会では地域母子保健業務に従事する助産師必要数検討のための調査を行い、調査対象市町村における常勤助産師の配置の現状は10%であった。これらの結果から、地域母子保健業務に従事する助産師の必要数を検討。</p> <p>4. 分娩介助実習の実態について看護系4年生大学89大学を対象に調査を行った。 回収63大学中、助産師課程があり卒業生を出している大学26校での分娩介助例数は、平均数8.75例であった。これらの結果に基づき、分娩介助実習の内容について検討中。</p> <p>※全国助産師教育協議会NEWS LETTER発行（年4回） ・NEWS LETTER No.39 2003.5.1 発行の関連記事として、不妊専門相談センター助産師の竹田典子氏の不妊看護6年の実績から、「助産師として、不妊の女性の悩みを聞き、不妊治療に関する情報を提供し、治療に関して自己決定ができるための支援の継続」などについて掲載。</p>	<p>1. 第40回全国助産師教育協議会総会を開催 期間：平成16年5月21日（金）～22日（土） 場所：東京都立保健科学大学</p> <p>2. 全国助産師教育協議会NEWS LETTERを継続的に発行 ・NEWS LETTER のなかに、関連記事をとりあげる。</p> <p>3. 第30回全国助産師教育協議会研修会を開催 期間・内容は未定</p>
13. 全国助産師教育協議会		<p>※ 第29回全国助産師教育協議会研修会を開催 メインテーマ：「子産み子育ての原点と助産師教育」 期間：平成16年3月19日（金）・20日（土） 会場：東京都立保健科学大学</p> <p>1日目内容「出産や育児の原点とそれらにまつわる昨今の課題」 講演「分娩台よさようなら」大野明子先生（明日香医院） 講演「ぬくもりの子育て」堀内頸先生（聖マリアンナ） 講演「妊産婦と感染症」川名尚先生（帝京大学） シンポジウム「子産み子育てを阻む性暴力と助産師の役割」</p> <p>2日目内容「専門職業人としての教育に視点」 講演「助産師教育への新しいチャレンジ」近藤潤子先生（天使大学） シンポジウム「助産師教育のターニングポイント」 参加者：3月19日 128名、20日127名</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
16.(社)全国保健センター連合会		<p>*研修会（テーマ：上記のいずれも該当）</p> <p>1. 東西ブロック別「親と子のいきいき学級セミナー」（延べ参加者数104名） 目的：健やか親子21推進の一環として、親になるための準備として「両親（母親）学級」等のプログラミング・実習（妊産婦体操等）の支援方法を研修する。 地区（2地区）：福島県、島根県 東ブロック：福島ビューホテル 平成15年7月24日・25日（参加者数44名） 西ブロック：ホテル白鳥 平成15年6月5日・6日（参加者数60名） 効果・その他：妊産婦体操等について理論と実習を双方向からの研修を行ったことで、市町村で実施するための具体的な支援方法について普及することができた。</p> <p>2. 女性の健康エクササイズセミナー－妊産婦体操実践指導員養成講習会－ 目的：従来の妊産婦体操の指導内容を基礎に、女性の健康づくりエクササイズとしてプログラムを拡充、ライフステージに対応した健康づくりの基本知識とエクササイズを修得する。 地区：東京都（東京厚生年金会館） 基礎コース：平成15年8月5・6日（参加者数20名） 妊産婦体操実践指導員コース：平成15年8月5～8日（参加者数34名） 効果・その他：女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。</p>	<p>*研修会を継続実施（テーマ：上記のいずれも該当）</p> <p>1. 女性の健康エクササイズセミナー 前年度と異なる内容：女性のライフステージ（思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等）に対応した健康づくりの基礎とエクササイズの修得を目的とする。 ※東西ブロック別「親と子のいきいき学級セミナー」については、内容のリニューアルにつき、第4課題が主たるテーマとなる。</p> <p>*出版物等 前年度と同様に実施の予定</p> <p>*ホームページによる情報提供 前年度と同様に実施の予定</p>
16.(社)全国保健センター連合会		<p>*出版物等（テーマ：上記のいずれも該当）</p> <p>1. 広報誌「Monthly保健センター」による関連記事掲載 2. 妊産婦・お産関連のリーフレット、パンフレット、テキスト、ビデオの頒布</p> <p>*ホームページによる情報提供（テーマ：上記のいずれも該当）</p> <p>1. 全保連ホームページに下記項目を掲載 ・全国の保健センターのホームページをリンク ・市町村保健活動の事例を紹介</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
17. 全国保健師長会	15	15 満足できる妊娠・出産への支援 ＊両親学級の実施 目的：妊娠・出産の不安除去や妊婦の仲間づくりや父親の父性意識の向上をめざす。 参加人数（対象者）：13,136人（父親参加734人再掲） 開催数、方法等：703回 効果、その他： ・母親だけでなく父親の参加をよびかけ、父性意識の向上が図られた。 ・学習を通して仲間づくりが行われ、問題解決する力が備わった。	
20. (社) 日本医師会	20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上	20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 平成15年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催 平成15年12月6日（土） テーマ「働く女性の母性の保護」 シンポジウム「若年者の性の問題を考える」 対象：日本医師会会員 日本産科婦人科医会会員 参加人数：約200人	20.産婦人科医・助産師の確保と養成の推進・資質の向上 平成16年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催予定 対象：日本医師会会員 日本産科婦人科医会会員 参加人数：200人を予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会	14.15.16.17.18.19.20.21.22.	14.15.16.17.18.19.20.21.22.機関誌『家族と健康』を通して「健やか親子21」関連記事を取り上げる。(別項) 14.15.16.17.18.妊娠について悩んでいる者に対する相談援助等事業の運営 厚生労働省の支援を得て、本会クリニックを含む全国4施設を指定し、標記事業を実施した。 (1) 永井病院 宮城県仙台市 (2) 芦原病院 大阪府大阪市 (3) 柿木病院 鹿児島県鹿児島市 (4) 本会クリニック 東京都新宿区 本会クリニックでの活動実績 助産師外来 指導人数 153人 性の健康教育実績 東京都立農芸高等学校 12 東京都立第一商業高等学校 216 東京都立鷺宮高等学校 96 東京都立農産高等学校 160 葛飾区立桜道中学校 180 東京都立大山高等学校 240 市川市立第三中学校 535 東京都立羽田高等学校 60 東京都立農産高等学校 94 東京都立杉並高等学校 70 東京都立九段高等学校 30 東京都立八王子高等学校 15 荒川区立諏訪台中学校	妊娠・出産に関する完全性と快適さの確保と不妊への支援 14.15.16.17.18.19.20.21.22.機関誌『家族と健康』を通して「健やか親子21」関連記事を取り上げる。(別項) 14.15.16.17.18.妊娠について悩んでいる者に対する相談援助等事業の運営 厚生労働省の支援を得て、本会クリニックを含む全国4施設を指定し、標記事業を実施した。 (1) 永井病院 宮城県仙台市 (2) 芦原病院 大阪府大阪市 (3) 柿木病院 鹿児島県鹿児島市 (4) 本会クリニック 東京都新宿区 21.22.東京都から委託を受けて実施している不妊専門相談センターの充実・不妊の当事者への支援を目的とした不妊ホットラインの継続実施。不妊相談セミナーの開催 東京都より一部補助を得て実施する。 1. 東京都・不妊ホットライン 相談日：火曜日 相談員：赤城 恵子、堀 弘子 他 2. 第7回不妊相談セミナーの開催 期日：平成17年 2月(予定) 会場：未定(東京都) 対象：医師、保健師、助産師、看護師等 定員：150名
22. (社)日本家族計画協会		川口市立青木中学校 綾瀬市立北の台中学校 150 新宿区立四谷中学校 荒川区立第七中学校 千葉県立長生中学校 150 江戸川区立葛西中学校 170 江戸川区立篠崎第二中学校 138 東京都立赤羽商業高等学校 100 埼玉県立坂戸西高等学校 東京都立国分寺高等学校 330 東京都立向島高等学校 2,746	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会		21.22.東京都から委託を受けて実施している不妊専門相談センターの充実・不妊の当事者への支援を目的とした不妊ホットラインの継続実施 不妊ホットライン 年次合計 不妊ホットライン開設日数 49 男性 50 女性 718 合計 768 去年同期 1152 比較 -384 (1) 知りたい情報 検査 39 薬 53 AIH 19 AID 6 体外受精/顕微受精 48 男性不妊 18 代理母・卵提供 4 病院情報 81 習慣流産 10 その他 67 セックス 34 月経・基礎体温など 55 内膜症・筋腫など 8	
22. (社)日本家族計画協会		(2) 治療について 治療への迷い 190 病院への不満 85 費用 6 仕事との両立 2 その他 14 不妊への不安 89 (3) 治療外のこと 周囲との人間関係 72 夫とのこと 54 自分自身のこと 132 妊娠・出産・育児 8 養子 4 子どものいない人生 19 その他 17	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会		21.22.「不妊相談セミナー」の開催 生涯を通じた女性の健康支援事業の一環として行っている東京都・不妊ホットラインの経験を活かしながら開催いたします。今回は相談のスキルアップに焦点をあて、相談事業を担当する実務者に役立つ実践的内容から不妊相談について考えてみたいと思います。 1. 期 日：平成16年3月17日(水)～18日(木) 2. 会 場：アルカディア市ヶ谷私学会館(東京都千代田区九段北4-2-25/TEL03-3261-9921) 3. 参加者：125名 4. プログラム	
22. (社)日本家族計画協会		平成16年3月17日(水) 9:00～9:25 受付 9:25～9:30 オリエンテーション 9:30～9:40 主催者挨拶 9:40～11:30 「不妊治療体験談～当事者のホンネ～」 不妊治療経験者2名 (9:40～10:00 Aさん/10:00～10:20 Bさん) 10:20～10:30 休憩 10:30～11:30 「不妊の当事者に聞く」 進行：(社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫 11:30～12:30 昼食 12:30～13:50 「電話相談スキルアップ」 電話相談員 安達 倭雅子 13:50～14:00 休憩 14:00～15:20 「面接相談スキルアップ」 東京メンタルヘルスアカデミー所長 武藤 清栄 15:20～15:30 休憩 15:30～16:30 本日のまとめ(質疑応答)	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
22. (社)日本家族計画協会		平成16年3月18日(木) 9:00~11:30 「知っておきたい不妊相談に必要な基礎知識」 「知っておきたい不妊治療の現状と将来」慶応義塾大学医学部産科婦人科学教室教授 吉村 泰典 11:30~12:30 昼食 12:30~13:30 「相談データの活かし方と東京都・不妊ホットラインのデータ紹介」 (社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫 13:30~13:40 休憩 13:45~14:45 ロールプレイ 「グループに分かれて、様々な相談事例にふれる機会を持ちましょう」 14:45~16:00 質疑応答・まとめ 16:00~ 閉会	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会	15.16.22.	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>1. 参加型妊産婦のトレーナーズ研修（看護教育・研究センター/清瀬・神戸） (目的) 母親学級や育児指導などの保健指導を行なう担当者自らが持つ力を発見し、その力を魅力的な保健指導に活かすことが出来るような看護職を育成する。 (内容) ・ゲームエクササイズからの発見 ・参加型研修体験 ・役割、生き方、あり方の再考 (日時) 平成15年5月14日～16日<3日間> (清瀬) 49名 平成16年2月16日～18日<3日間> (神戸) 93名</p> <p>2. フリースタイル出産の援助技術（看護教育・研究センター） (目的) 妊産婦のニーズに応え、個を尊重した安全で安楽な分娩を支援する具体的な援助法を学ぶ (内容) ・アクティブパースにおける看護職の役割 ・分娩時ルチンワークの見直し ・医療施設におけるアクティブパース ・フリースタイル出産の技術演習 (日時) 平成15年6月19日～20日<2日間> (清瀬) 110名</p> <p>16.産後うつ病を含む心のケア</p> <p>1. 母子のメンタルヘルスケア（神戸研修センター） (目的) 妊産婦ならびに育児中の母親のメンタルヘルスを学ぶとともに、母子保健に携わる看護職および他の専門職、関係機関と連携を図るための知識を得る。</p>	<p>15.満足できる妊娠・出産への支援</p> <p>1. 参加型妊産婦のトレーナーズ研修（日本看護協会看護教育・研究センター） (目的) 母親学級や育児指導などの保健指導を行なう担当者自らが持つ力を発見し、その力を魅力的な保健指導に活かすことが出来るような看護職を育成する。 (内容) ・ゲームエクササイズからの発見 ・参加型研修体験 ・役割、生き方、あり方の再考 (日時)平成16年10月12日～14日<3日間> 定員50名</p> <p>2. フリースタイル出産の援助技術（日本看護協会看護教育・研究センター/研修センター） (目的) 妊産婦のニーズに応え、個を尊重した安全で安楽な分娩を支援する具体的な援助法を学ぶ (内容) ・アクティブパースにおける看護職の役割 ・分娩時ルチンワークの見直し ・医療施設におけるアクティブパース ・フリースタイル出産の技術演習 (日時) 平成16年 8月 9日～10日<2日間> (清瀬) 定員50名 平成16年11月25日～26日<2日間> (清瀬) 定員50名 平成16年 6月 3日～ 4日<2日間> (神戸) 定員50名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
24.(社)日本看護協会		<p>(内容)・妊産褥婦の心理とケア ・乳幼児の発育と育児支援 ・精神科疾患を持つ妊産褥婦のケア ・周産期の死を経験した両親へのメンタルヘルスケア ・地域におけるメンタルヘルスケア (日時)平成15年12月10日～12日<2日間>(神戸)参加者100名 22.不妊治療を受ける際の環境整備と関係者の資質向上(カウンセリングなどの提供等) 1.不妊看護認定看護師の育成(神戸研修センター) (目的)専門的知識のもとに、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントや、エビデンスに基づくケアの実施など、卓越した実践能力を基盤として、看護職に対する相談・指導の役割を担うための認定看護師を育成する。 (内容)リプロダクティブヘルス理論・不妊の基礎知識・不妊症の診断・不妊症の治療・社会現象としての不妊・不妊看護概論・不妊看護援助論Ⅰ・不妊看護援助論Ⅱ・不妊看護のマネージメント ほか (定員)12名 (期間)6ヶ月(平成15年10月～平成16年3月) 2.生殖医療と不妊看護の役割(神戸研修センター) (目的)現代の生殖にかかわる諸問題を、今後の医療の進歩と倫理的課題を含めて理解し、看護職が不妊に対して果たす役割を考える。 (内容)・生殖医療の動向 ・生命倫理・出生前診断 ・自己決定のための支援 ・不妊看護 (日時)平成15年6月26日～27日<2日間>(神戸)107名</p>	<p>16.産後うつ病を含む心のケア 1.母子のメンタルヘルスケア(日本看護協会神戸研修センター) (目的)妊産婦ならびに育児中の母親のメンタルヘルスを学ぶとともに、母子保健に携わる看護職および他の専門職、関係機関との連携を図るための知識を得る。 (内容)・妊産褥婦の心理とケア ・乳幼児の発育と育児支援 ・精神科疾患を持つ妊産褥婦のケア ・周産期の死を経験した両親へのメンタルヘルスケア ・地域におけるメンタルヘルスケア (日時)平成16年下半期(日程未定)<3日間>定員150名 22.不妊治療を受ける際の環境整備と関係者の資質向上(カウンセリングなどの提供等) 1.不妊看護認定看護師の育成(日本看護協会神戸研修センター) (目的)施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 (内容)リプロダクティブヘルス理論・不妊の基礎知識・不妊症の診断・不妊症の治療・社会現象としての不妊・不妊看護概論・不妊看護援助論Ⅰ・不妊看護援助論Ⅱ・不妊看護のマネージメント ほか (定員)20名 (期間)6ヶ月(平成16年10月～平成17年3月)</p>
24.(社)日本看護協会			<p>2.生殖医療と不妊看護の役割(日本看護協会神戸研修センター) (目的)生殖にかかわる医療の進展と倫理的課題について不妊看護の果たす役割を考える。 (内容)・生殖医療の動向 ・生命倫理・出生前診断 ・自己決定のための支援 ・不妊看護 (日時)平成16年5月13日～14日<2日間>定員150名</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
26. (社)日本産科婦人科学会	2.3.6.8.9.10.女性の健康支援	<p>上記テーマを中心に各地方部会にて公開講座を実施した。</p> <p>開催地 開催日 会場 テーマ 参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 11/12 旭川グランドホテル 女性がいつまでも美しくあるために-中高年女性の健康を考える- 98名 ・青森 9/28 下北文化会館 女性の健康を考える 114名 ・岩手 11/1 宮古シティホテル 性教育を考える 54名 ・山形 12/5 山形テルサ あなたが子宮がん検診で異常ありといわれたら・・・? 50名 ・栃木 11/21 獨協医科大学 第3回思春期医学懇話会 100名 ・埼玉 1/31 志木市ふれあいプラザ 若年女性のための健康講座 37名 ・千葉 2/21 千葉市女性センター 学校保健と産婦人科～産婦人科専門校医（相談医）の充実のために～ 125名 ・長野 12/6 若里市民文化ホール（長野市） 若者の性が危ない 450名 ・静岡 3月 県下中学校（3校）産婦人科医による教育現場における性教育出張講座 学校行事（生徒、教師、PTA） ・富山 1/24 富山国際会議場大手町フォーラム 思春期から考える性の健康 450名 ・石川 10/19 金沢シティモンドホテル 若者に蔓延する性感染症 115名 ・岐阜 10/25 岐阜会館 女性の日常生活と健康管理 96名 ・大阪 12/3 大阪リサイタルホール 女性の健康とたばこ・ホルモン 180名 ・奈良 2/21 奈良県医師会館 女性のための健康講座 40名 ・和歌山 7/8 医大講堂 中高年健康セミナー 200名 	<p>2.3.4.8.9.14.15.女性の健康支援 平成16年度地方部会担当公開講座予定 開催地 開催日 会場 テーマ 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道 詳細検討中 ・青森 9/25 黒石市（スポカールン黒石）女性の健康を考える ・岩手 北上市 10-11月開催予定 ・山形 詳細検討中 ・茨城 11/6 茨城県医師会館 検討中 ・栃木 7/10 栃木県総合文化センター 今、摂食障害を再考する ・埼玉 1-2月頃開催予定 ・千葉 詳細検討中 ・神奈川 詳細検討中 ・静岡 県下中学校 教育現場における性教育出張講座 3月予定 ・富山 富山国際会議場 詳細検討中 ・石川 6/26 勤労者会館 女性の健康を守る ・岐阜 10/23 長良川国際会議場 抗がん剤の副作用にたち向かって長生きしよう ・滋賀 検討結果：7月頃 ・大阪 女性のQOL向上を目指して ・奈良 奈良県医師会館 2月開催予定 ・和歌山 6/26 医大講堂 体にやさしい治療をもとめて ・鳥取 米子市福祉保健総合センター 女性の健康を考える 10月頃開催予定

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）
 -妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-

団体名	課題に対する団体としての15年度の取り組み	15年度の取り組み実績	16年度の取り組み行動計画
26. (社)日本産科婦人科学会		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取 5/21 鳥取県医師会館 女性の健康を考えるー性感染症と子宮頸癌 90名 ・島根 6/7 大東町民体育館 女性のための健康講座 180名 ・岡山 11/1 岡山国際会議場 中高年を健やかに美しく 51名 ・徳島 3/27 新聞放送会館 女性がんの早期発見のために 161名 ・香川 11/1 社会福祉総合センター 子宮癌なんてこわくない 80名 ・愛媛 11/3 愛媛県医師会館 第17回性教育セミナー 92名 ・高知 7/6 高知市文化プラザ 女性のための健康講座ー生理痛、子宮内膜症、不妊症を考えましょうー 70名 ・佐賀 1/10 アバンセ 女性健康講座～性感染症の予防～ 155名 ・熊本 3/6 つるやホール 女性の健康シリーズ9 156名 ・宮崎 8/23 宮崎県医師会館大ホール 性教育と感染症 139名 	<ul style="list-style-type: none"> ・島根 詳細検討中：12-3月開催予定 ・岡山 詳細検討中 ・徳島 お産に関する内容 3月頃開催予定 ・香川 11/20 社会福祉総合センター みずみずしいお肌と健康を維持する ・愛媛 愛媛県医師会館 第18回性教育セミナー 1月頃開催予定 ・高知 詳細検討中 ・福岡 12/4 詳細検討中 ・佐賀 2/5 アバンセ 中高年女性の健康講座（更年期、骨粗鬆症） ・熊本 2/26 つるやホール 検討中 ・宮崎 8/21 宮崎県医師会館 検討中 ・鹿児島 検討結果：8月末 ・沖縄 性感染症に関する内容 10-11月頃開催予定